

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 124号

2014/12/22 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：両市場とも週を通して上昇=LDは約4%上昇

① 最高3月 LDN市場£1,988 /3月 NY市場\$2,980 (12/15) 先週比 **LDN-£40/NY-\$84**
② 最低：3月 LDN市場£1,907 /3月 NY市場\$2,910 (12/22) 先週比 **LDN+£8/NY+\$12**
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£81 (傾向↑) / NY市場\$70 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN市場 223,238枚(12/12終了時)⇒217,561枚 (12/18終了時) **-5,677枚**
NY市場 184,751枚(12/12終了時) ⇒184,902枚 (12/18終了時) **+151枚**

	2014/12/15(月)		2014/12/16(火)		2014/12/17(水)		2014/12/18(木)		2014/12/19(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
4-Mar	1907	2910	1928	2914	1939	2915	1969	2965	1988	2980
5-May	1896	2873	1914	2900	1920	2900	1940	2943	1954	2954
5-Jul	1887	2860	1903	2884	1908	2885	1926	2926	1937	2934

2、ベネズエラ：政府によりカカオ豆輸出が規制されている(12/17)

ベネズエラではカカオ豆の輸出はいまだ世界的に普及しておらず、ベネズエラ政府は再三にわたりカカオ豆の輸出を伸ばしていきたいと述べてきた。しかしそれにも関わらず、政府機関の1部である Mercadeo Agricola の代表は、輸出ライセンスを与えないなどの方法を使って輸出を妨げている。

ここ15日間で、カカオ豆の輸出ライセンスは全く発行されておらず、国内に6社ある輸出企業は影響を受けている。このことは、ベネズエラの「安定したカカオ豆の供給国」としての評判に疑問を与える。ベネズエラは今年1万7000トンのカカオ豆を生産しており、2011/12期よりも9%伸びている。そのうち国内需要は1万トンほどある。そして残りは通常国外に輸出され、2520万ドルの外貨を稼ぎだしている。

ベネズエラのカカオ豆は現在日本、韓国、マレーシア、シンガポール、ドイツ、ベルギー、スペイン、フランス、ハンガリー、オランダ、イギリス、イタリア、スイス、アメリカ、アルゼンチン、カナダ、コロンビアに輸出されている。

3、カメルーン：日照りによりブラックポッド病に歯止めがかかる(12/17)

カメルーンではここ2週間、雨が少なく太陽が照っていたのでブラックポッド病の蔓延を抑えることができています。

メインクroppがはじまった9月以降、南西部の地区は雨に悩まされており、湿度が高いと発生するカビが大量発生していた。

カメルーンのカカオ・コーヒー協会の代表は「ここ最近だけでブラックポッド病によって生産量の3%が枯死してしまいましたが、ようやく晴れ間が出てきて病気の蔓延を食い止めてくれるだろう。」と期待を述べている。カメルーンでは10月から翌年の7月までカカオの収穫が続く。2013/14期においては南西部だけでカメルーン生産量の40%を占めている。カメルーンは世界第5位のカカオ豆生産国であり、2013/14期に21万トンのカカオ豆を生産した。

4、ペルー：国内生産量のわずか10%が国内市場へ出回っている(12/19)

ペルー農業省のMirna Zuzunaga氏によると、ペルー国内で生産されるカカオ豆の10%のみが国内市場に出回っているという。カカオ豆はペルー第2位の輸出産品として重要な地位を占め、年間45トン以上のカカオ豆を米国、イタリア、オランダ、ベルギーへ輸出している。

ペルーにおける一人あたりのカカオ豆消費量は年間で500gである。しかしながら農業省のカカオ部門はコーヒーやカカオ機関を設立する基礎作りをしようと試みている。ペルーではSan Martinの14ヘクタールの土地にカカオの樹木が植わっており、その他にもHuanucoやUcayaliにおいてもカカオ農園へと農地の切り替えが進んでいる。

5、コロンビア：Fedecacaoは8種類の新種カカオ豆を発表(12/19)

コロンビアのカカオ生産者連合のFedecacaoは10年にも渡る研究により、8種類の異なるカカオ豆の品種を紹介してきた。

現行の品種が平均してヘクタールあたり450kgの収穫量となるどころ、新品種のカカオではヘクタールあたり1500kgを超える見込みである。

またそれだけではなく病気に対する耐性も期待できる。カカオ産業は政府の支援を受け、少なくとも8万ヘクタールの農地のリノベーションを行う予定である。

6、ベトナム：カカオ産業の改善・向上が再度求められている。(12/19)

ベトナムの農業・地域活性省のもとにある農業開拓部門(MARD)は、カカオ栽培改善計画を見直し、農民がカカオを産業的に大規模に栽培していくような施策を打ち出す必要がある。

最近ハノイで開催された「ベトナムにおけるカカオ栽培の機会とカカオ改善への挑戦」について議論された会議において、MARDの代表はカカオ産業をどのように立て直していくか、成長させていくかについての計画

を早急に立て、それを来年の第1四半期までに MARD に提出するようにと述べている。また彼は「MARD はカカオをベトナムの主要な輸出産品とさせるべく、多くの農業向上プログラムを行った。」

MARD は 2020 年までに 5 万ヘクタールのカカオ農園をつくる計画を打ち出したが、現状では 1 万 6000 ヘクタールまでしか進んでいない。

ある専門家は、農業への不十分な投資や農民の乏しい農業知識は、カカオ産業の発展がうまくいっていなかったことに原因があるとしている。

彼はまた「農民に対して単に良い収入源になるということだけでなく、収穫物に対する付加価値が連鎖的に農民にも還元されるビジネス的な要素も関与させることが大切だ。」と述べた。

会議の参加者はカカオ産業を改善・向上させることに同意し、政府や関連団体は農民に技術協力するだけでなく、収穫されたカカオ豆をいかに市場に出荷するかというアクセス面についても手助けをしていく。

7、ナイジェリア：オグン州のカカオ豆価格が急上昇(12/17)

ナイジェリアのオグン州のカカオ豆価格は急激に上昇した。輸出用としての品質をクリアしたカカオ豆は、ここ最近で\$2634 で取引されており先月の\$2415 より値上がりしている。

関係者は「オグン州ではカカオ豆価格が上昇しているが、それでも取引の状況は非常によく売買が盛んに行われている。我々はカカオ市場でも堅調に取引が伸びている。」と述べている。

ナイジェリアのカカオ協会の Olomide 氏は「カカオ豆価格は上昇しているが、ナイジェリア通貨のナイラはドルに対して弱く、ナイラ建てで評価すると価格は下がっている。」と述べた。

オグン州の州都である Abeokuta 地区のトレーダーは「カカオ豆のローカル価格はナイラの下落により下がっている。」と述べている。

輸出用のカカオ豆は政府の農産品検査機関により評価を受けて合格した品質のものである。

オグン州はナイジェリア南西部のカカオ主生産地の1つであり、この南西部（オヨ州、オスン州、オンド州、エキティ州、オグン州）だけでナイジェリアのカカオ生産量の 70%を占めている。ナイジェリアでは 2013/14 期で 33 万トンのカカオ豆を生産している。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp